

第3回気候変動を踏まえた青森県沿岸海岸保全施設技術検討会の 議事概要について

日 時：令和6年10月28日（月）13：00～15：00
場 所：VISITはちのへ（ユートリー） 5階 視聴覚室
出席者：佐々木座長、南委員、加藤委員、柴田委員、平山委員

1 検討項目

- ① 第2回技術検討会の意見・回答
 - ・第2回技術検討会で出た意見に対する回答を行った。
- ② 潮位偏差・波浪の将来予測手法について
 - ・潮位偏差及び波浪の将来予測手法について、各手法の詳細（メリットデメリット等）を把握し、採用する手法の検討をした。また、波高・潮位偏差について沿岸ごとに将来変化倍率を算出した。
- ③ 気候変動の影響を踏まえた設計津波の設定について
 - ・設計津波の水位を設定した地域海岸のうち、代表地域海岸を対象に「現行水位+0.38m」と「再解析」を比較し、平均海面上昇に伴う津波水位の変化を確認した。

2 検討結果

- ① ・特になし
- ② ・将来予測手法について、津軽沿岸と下北八戸沿岸は「高潮波浪推定式」を選定し、陸奥湾沿岸は波浪が「SMB法」、潮位偏差が「高潮を経験的予測式」を選定した。
 - ・今後の検討で波浪諸元は必要となるため、周期の推定だけでなく波向の推定についても検討するよう意見をいただいた。（計画値の設定時に検討）
 - ・波浪推定式の構築について、閾値を0.5mずつ変更した推定結果を整理したが、採用されるものを数値的に判断できるように整理するよう意見をいただいた。
- ③ ・「再解析」の結果のほうが高くなる傾向にある場所がわかるように整理するよう意見をいただいた。